

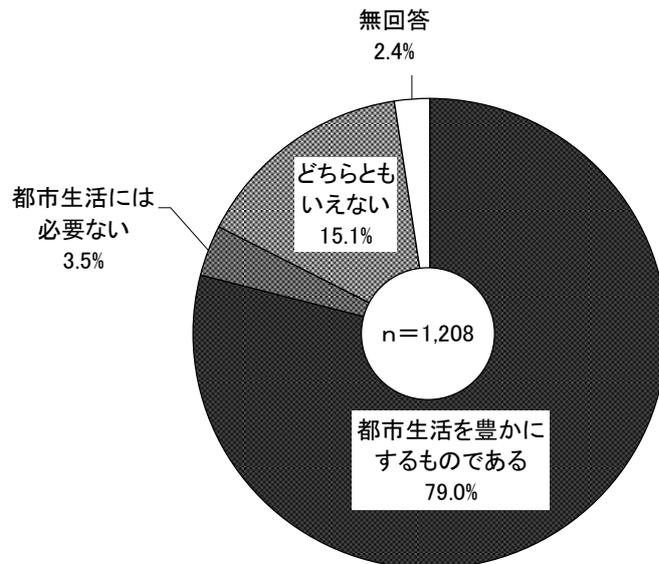
## 2 都市農業・農地について

### (1) 都市農業・農地に対する考え

◇「都市生活を豊かにするものである」は約8割

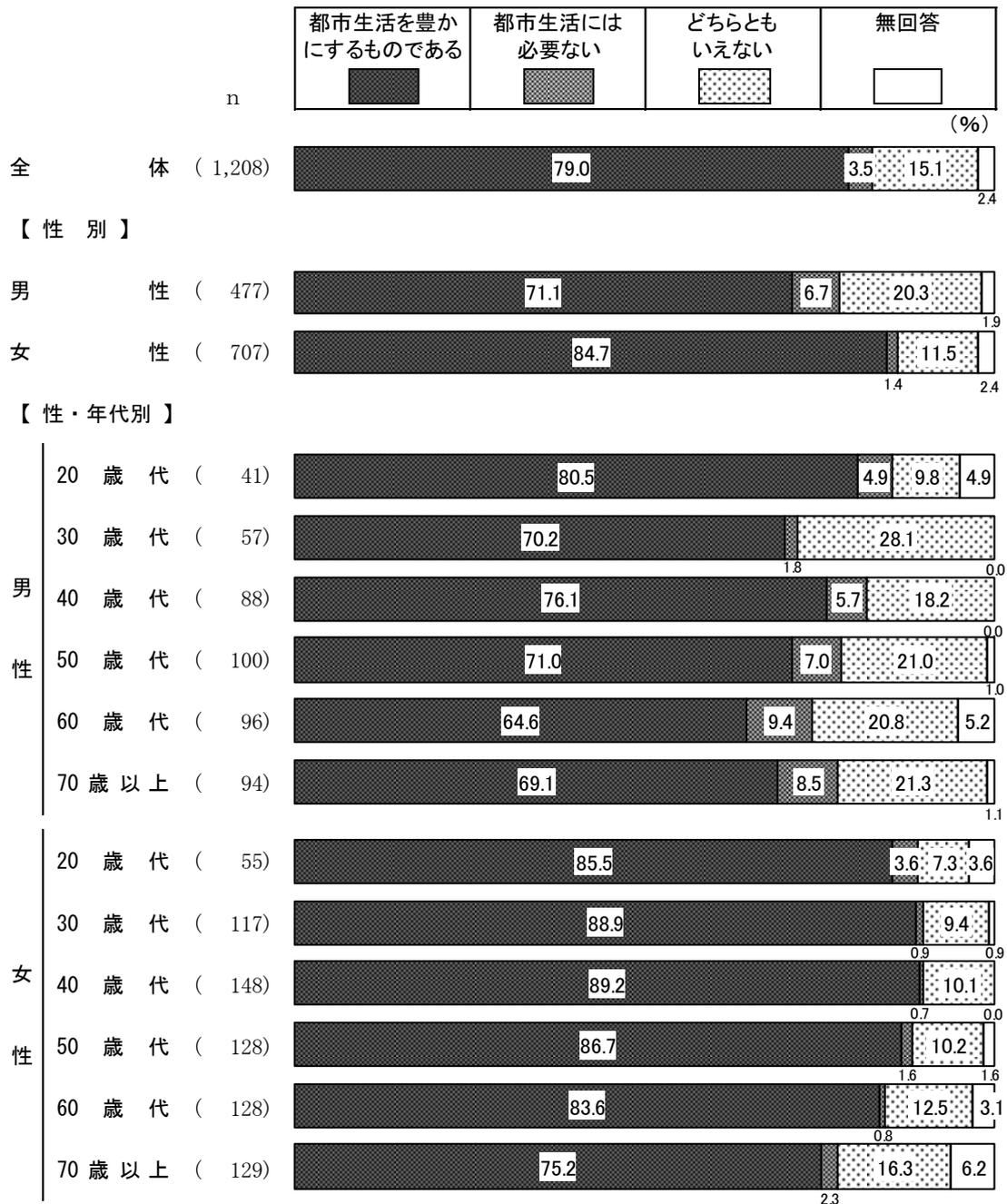
問16 あなたは、練馬区に都市農業・農地があることについてどのように考えますか。

図2-1-1 都市農業・農地に対する考え



都市農業・農地に対する考えについて聞いたところ、「都市生活を豊かにするものである」(79.0%)が約8割となっている。(図2-1-1)

図2-1-2 都市農業・農地に対する考え—性別、性・年代別



性別にみると、「都市生活を豊かにするものである」は女性の方が13.6ポイント高く、8割台半ばとなっている。

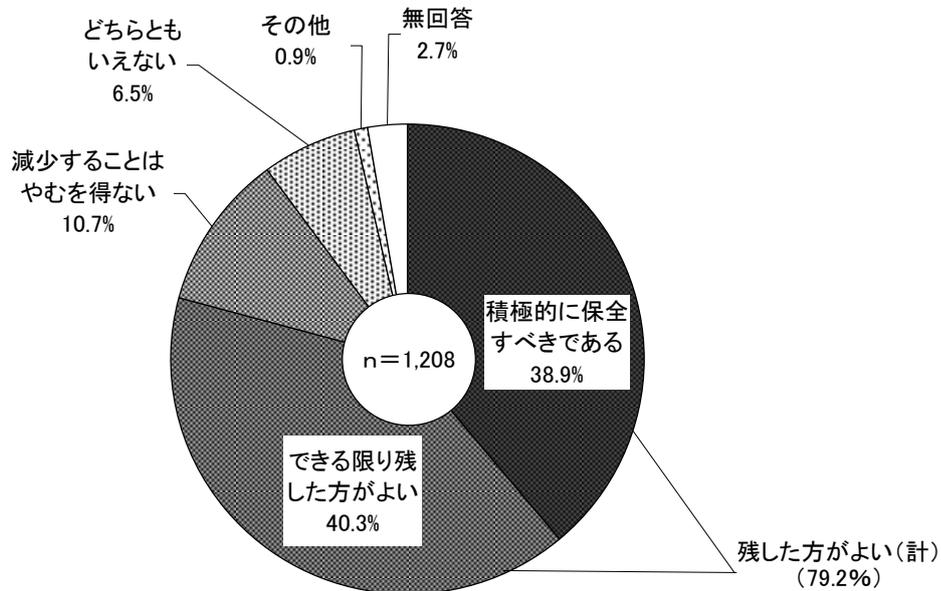
性・年代別にみると、「都市生活を豊かにするものである」は男性20歳代と女性の60歳代以下の年代で8割台と多くなっている。「都市生活には必要ない」はすべての性・年代別で1割未満となっており、男性60歳代で約1割とやや多くなっている。(図2-1-2)

(2) 農地の保全

◇『残した方がよい』は約8割

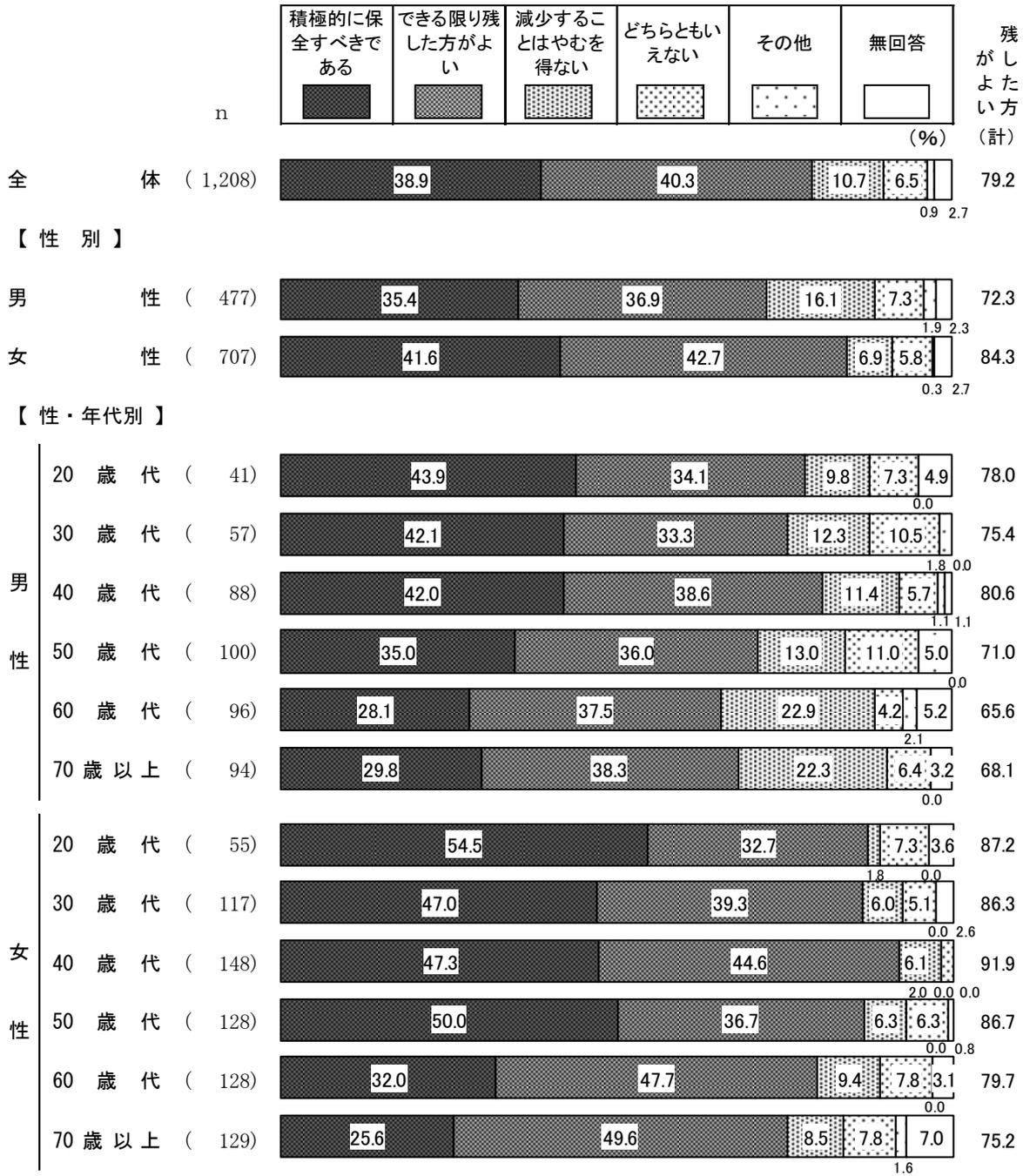
問17 あなたは、練馬区内にある農地の保全についてどのように考えますか。

図2-2-1 農地の保全



農地の保全について聞いたところ、「積極的に保全すべきである」(38.9%)が4割近くで、これに「できる限り残した方がよい」(40.3%)を合わせた『残した方がよい』(79.2%)が約8割となっている。一方、「減少することはやむを得ない」(10.7%)は約1割となっている。(図2-2-1)

図 2-2-2 農地の保全－性別、性・年代別



性別にみると、『残した方がよい』は女性の方が12.0ポイント高く、8割台半ばとなっている。

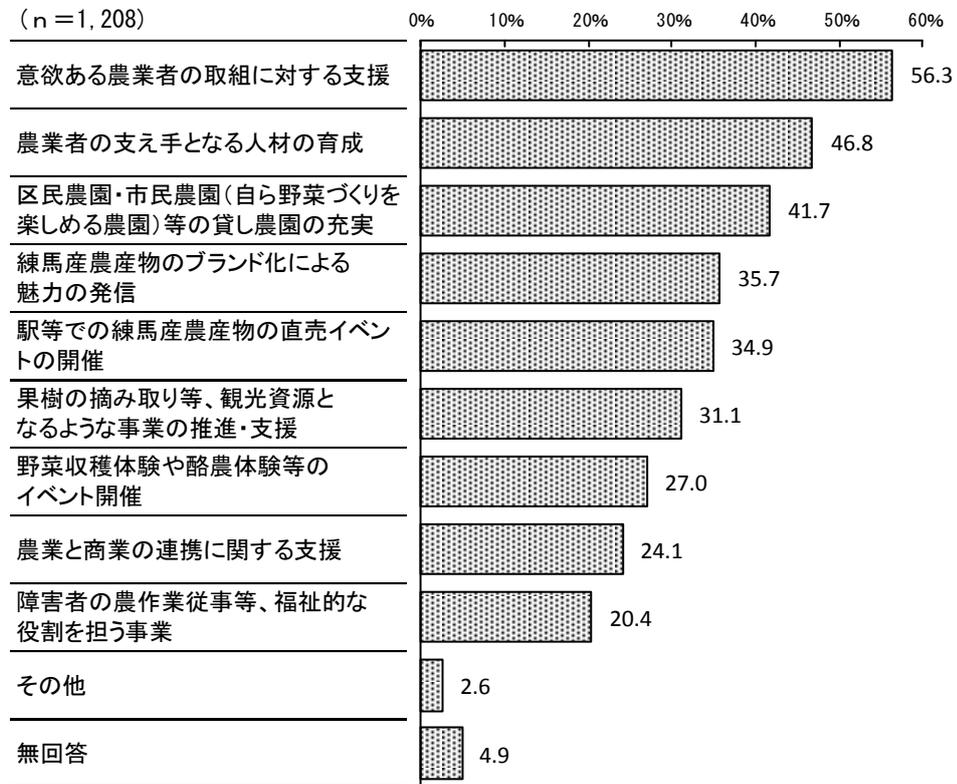
性・年代別にみると、『残した方がよい』は女性40歳代で9割を超えて最も多く、女性20歳代・30歳代・50歳代で8割台後半となっている。一方、「減少することはやむを得ない」は男性60歳代・70歳以上で2割を超えている。(図2-2-2)

(3) 重要だと思う農業振興策

◇「意欲ある農業者の取組に対する支援」は5割台半ば

問18 あなたが重要だと思う農業振興策を選んでください。(〇はいくつでも)

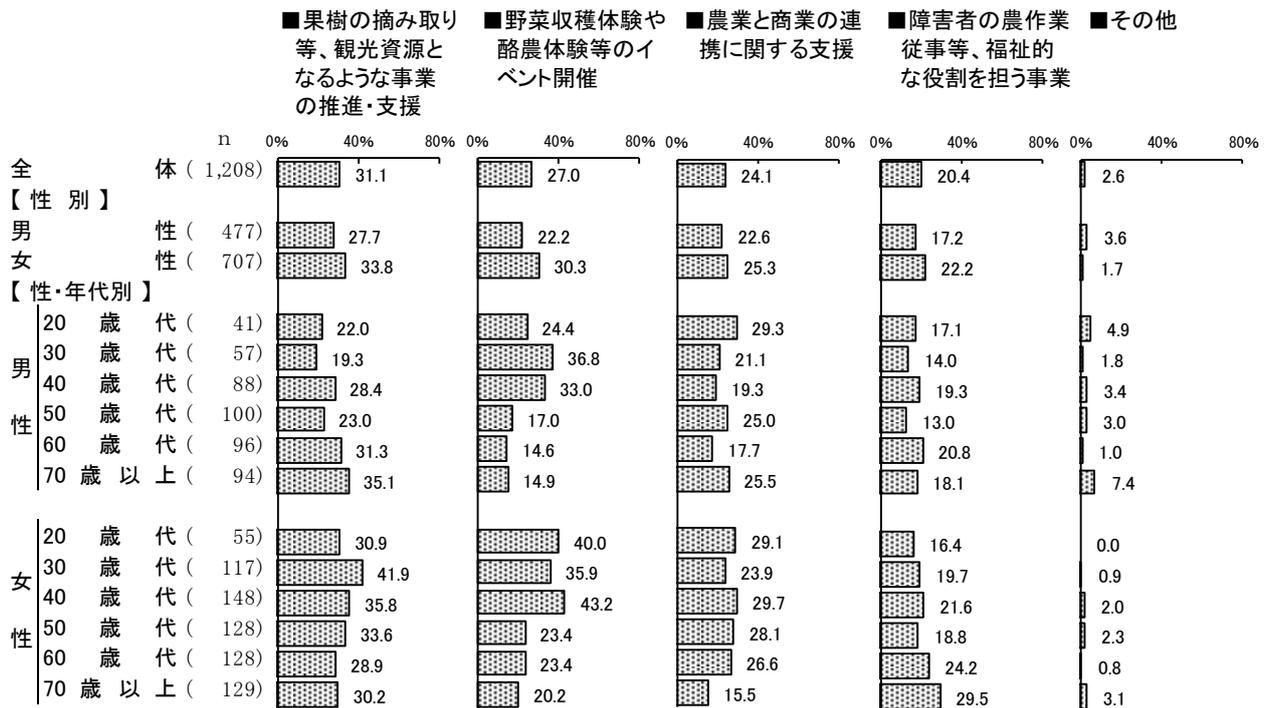
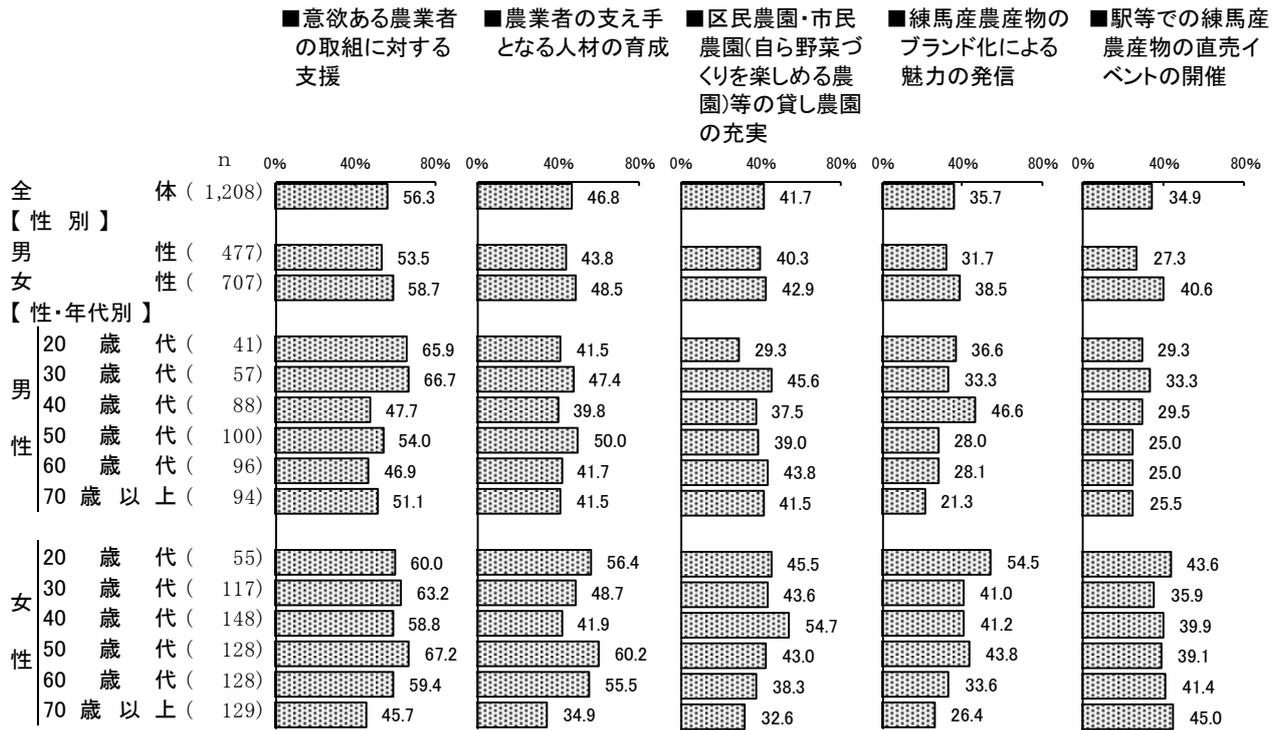
図2-3-1 重要だと思う農業振興策



重要だと思う農業振興策について聞いたところ、「意欲ある農業者の取組に対する支援」(56.3%)が5割台半ばで最も多く、次いで「農業者の支え手となる人材の育成」(46.8%)、「区民農園・市民農園(自ら野菜づくりを楽しめる農園)等の貸し農園の充実」(41.7%)などの順になっている。

(図2-3-1)

図 2-3-2 重要だと思う農業振興策—性別、性・年代別



性別にみると、「駅等での練馬産農産物の直売イベントの開催」は女性の方が13.3ポイント高く、約4割となっている。

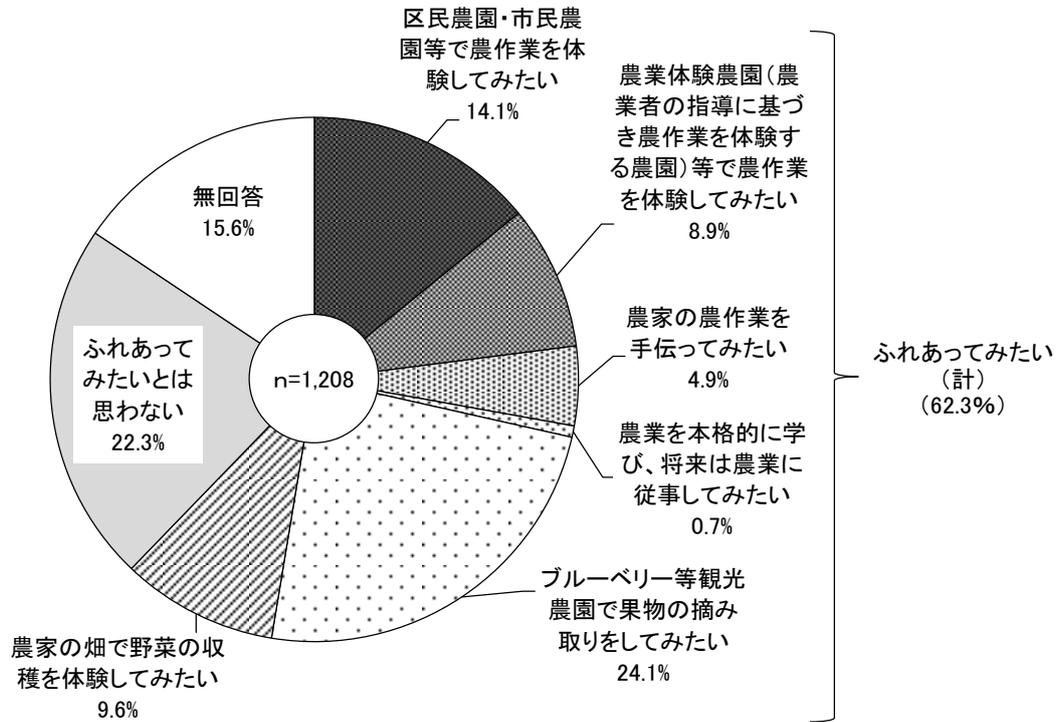
性・年代別にみると、「意欲ある農業者の取組に対する支援」は女性50歳代で7割近く、男性20歳代・30歳代でも6割台半ばと多くなっている。「農業者の支え手となる人材の育成」は女性50歳代で約6割、「区民農園・市民農園（自ら野菜づくりを楽しめる農園）等の貸し農園の充実」は女性40歳代で5割台半ばと多くなっている。(図2-3-2)

(4) 「農」とのふれあい

◇『ふれあってみたい』は6割を超える

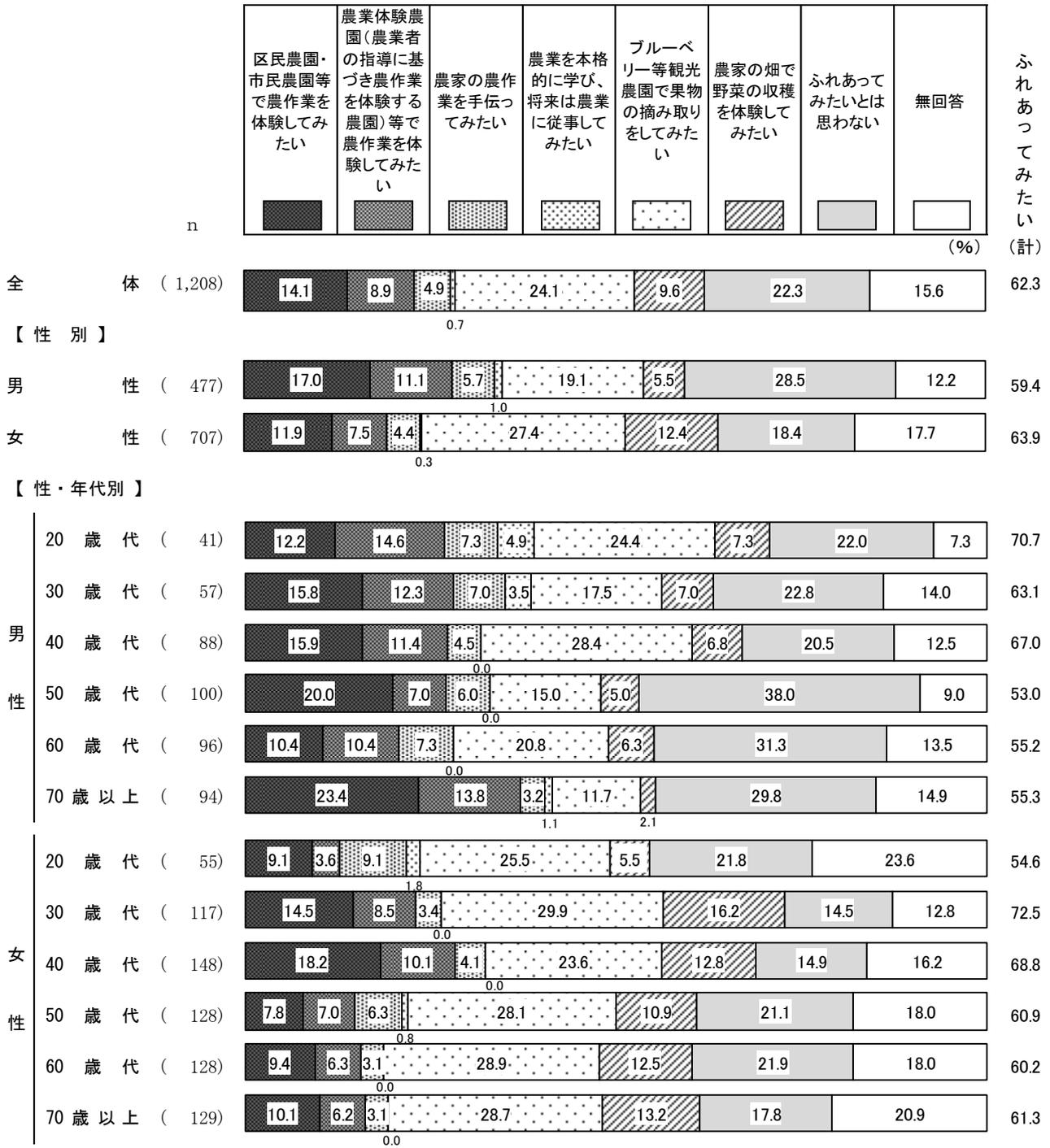
問19 都市農業は、身近に農地があることが大きな特徴の一つですが、あなたは「農」にふれあってみたいと思いますか。(〇は1つ)

図2-4-1 「農」とのふれあい



「農」とのふれあいについて聞いたところ、「ブルーベリー等観光農園で果物の摘み取りをしてみたい」(24.1%)が2割台半ばで最も多く、これに「区民農園・市民農園等で農作業を体験してみたい」(14.1%)、「農家の畑で野菜の収穫を体験してみたい」(9.6%)、「農業体験農園(農業者の指導に基づき農作業を体験する農園)等で農作業を体験してみたい」(8.9%)、「農家の農作業を手伝ってみたい」(4.9%)、「農業を本格的に学び、将来は農業に従事してみたい」(0.7%)を合わせた、『ふれあってみたい』(62.3%)は6割を超える。一方、「ふれあってみたいとは思わない」(22.3%)は2割を超える。(図2-4-1)

図2-4-2 「農」とのふれあい—性別、性・年代別



性別にみると、「ブルーベリー等観光農園で果物の摘み取りをしてみたい」は女性の方が8.3ポイント高く、3割近くとなっており、「ふれあってみたいとは思わない」は男性の方が10.1ポイント高く3割近くとなっている。

性・年代別にみると、『ふれあってみたい』は男性20歳代、女性30歳代で7割台前半と多くなっている。「ふれあってみたいとは思わない」は男性50歳代で4割近くと最も多くなっている。

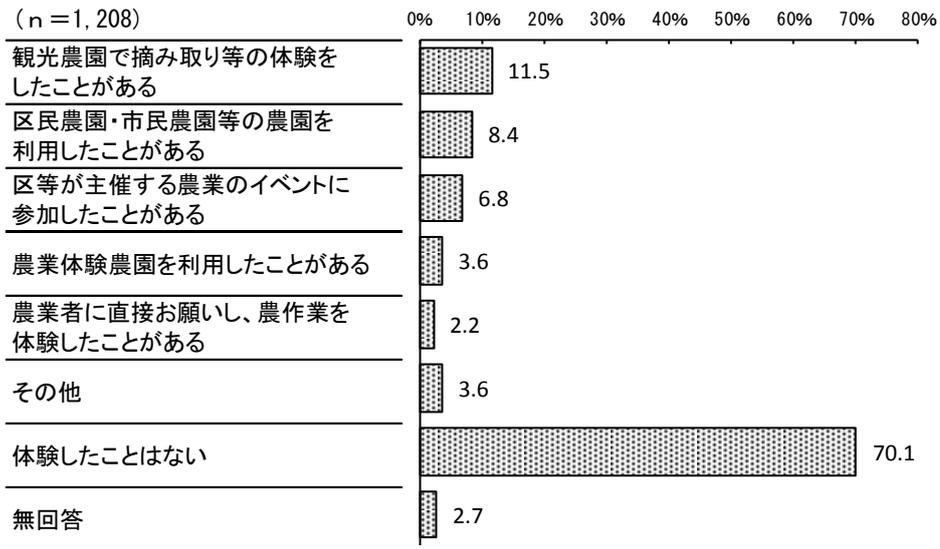
(図2-4-2)

(5) 区内での農業体験

◇「体験したことはない」は約7割

問20 あなたは実際に、区内で農業体験をしたことがありますか。(○はいくつでも)

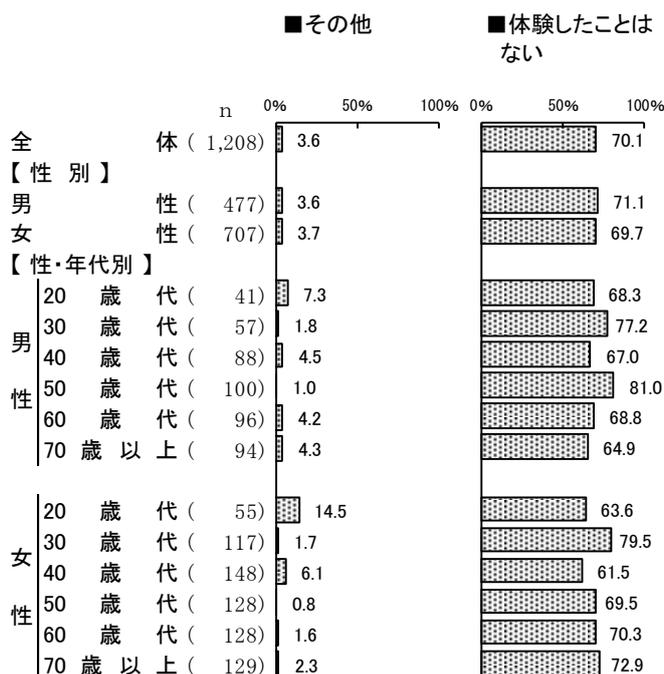
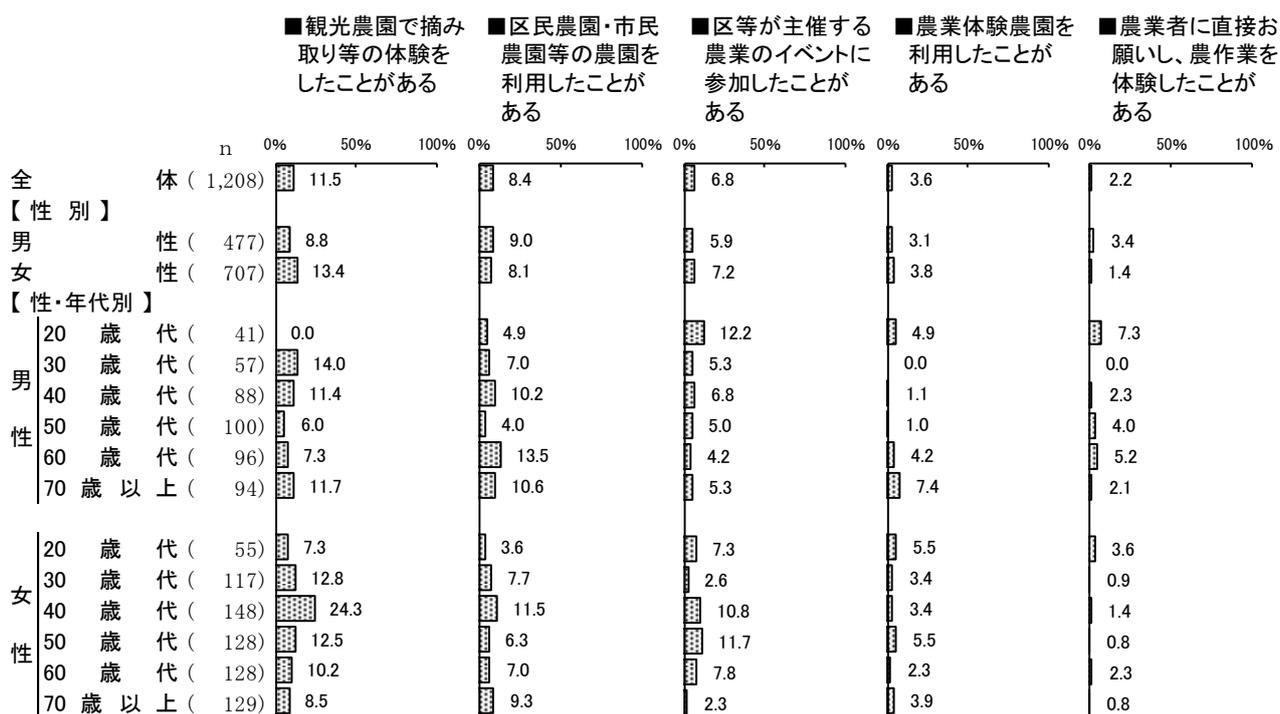
図2-5-1 区内での農業体験



区内での農業体験について聞いたところ、「観光農園で摘み取り等の体験をしたことがある」(11.5%)が1割を超えている。一方、「体験したことはない」(70.1%)が約7割となっている。

(図2-5-1)

図 2-5-2 区内での農業体験—性別、性・年代別



性別にみると、「観光農園で摘み取り等の体験をしたことがある」は女性の方が4.6ポイント高く、1割を超えている。

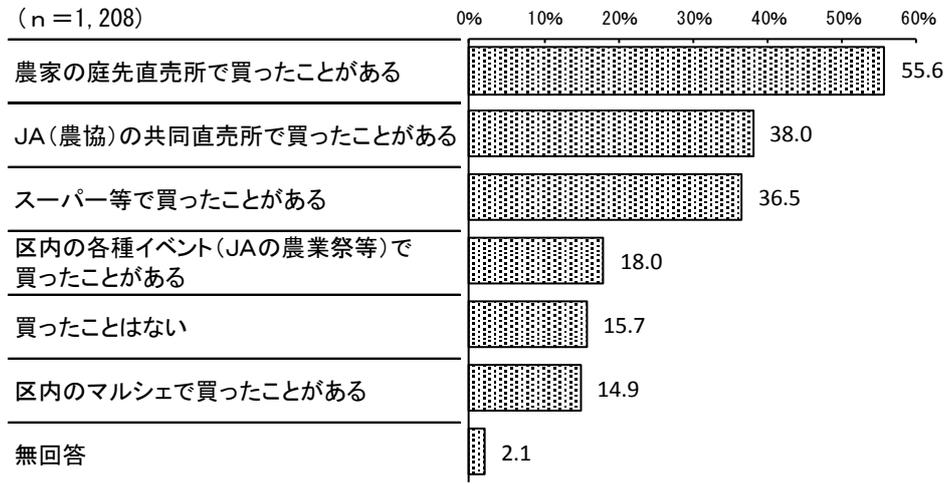
性・年代別にみると、「観光農園で摘み取り等の体験をしたことがある」は女性40歳代で2割台半ばとなっている。「体験したことはない」は男性50歳代で8割を超えて最も多く、すべての性・年代で6割以上となっている。(図2-5-2)

(6) 練馬産の農産物の購入

◇「農家の庭先直売所で買ったことがある」は5割台半ば

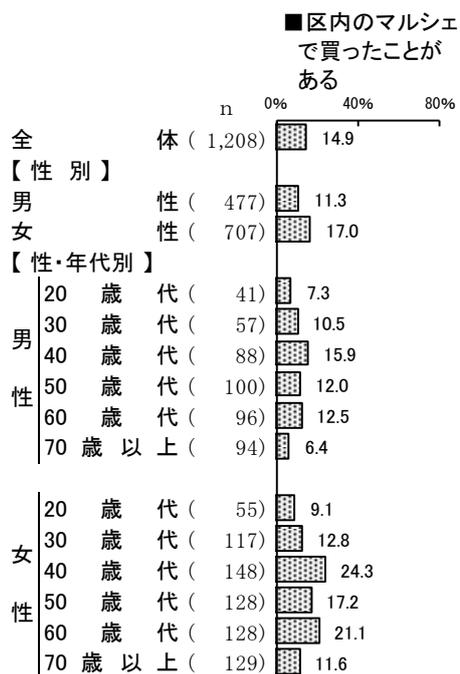
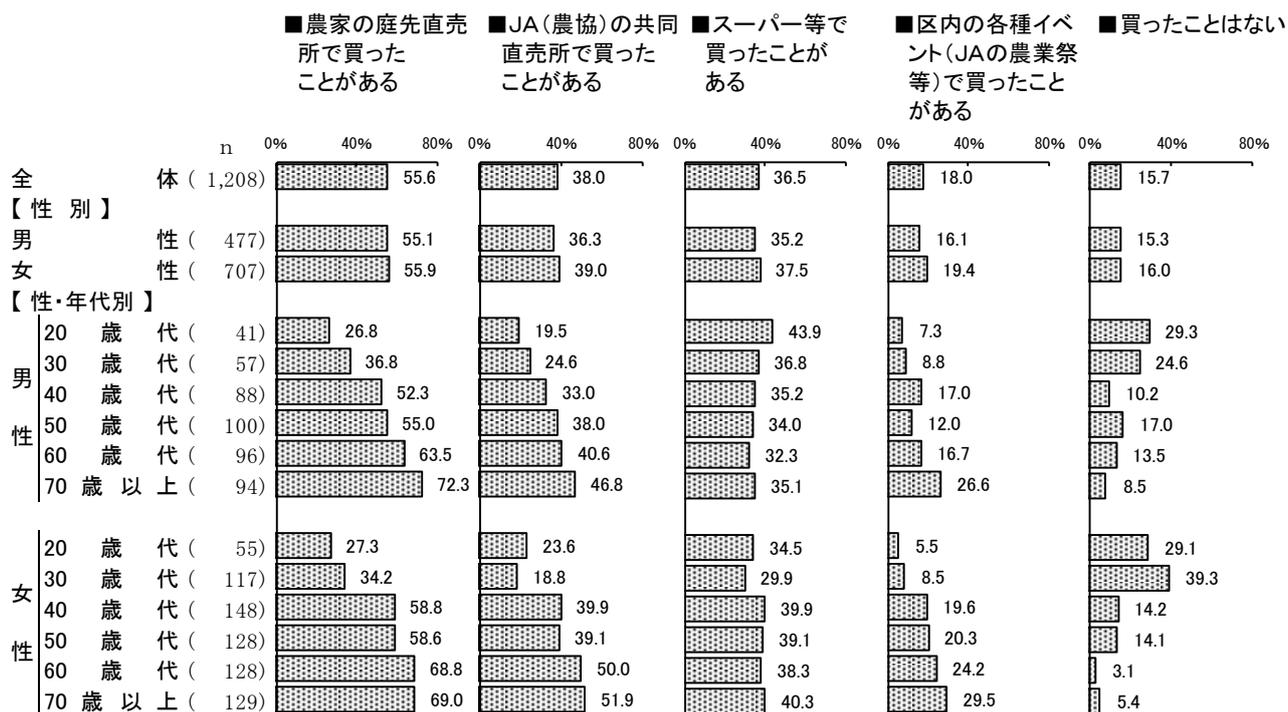
問21 あなたは練馬産の農産物を購入したことはありますか。(〇はいくつでも)

図2-6-1 練馬産の農産物の購入



練馬産の農産物の購入について聞いたところ、「農家の庭先直売所で買ったことがある」(55.6%)が5割台半ばで最も多く、次いで「JA(農協)の共同直売所で買ったことがある」(38.0%)、「スーパー等で買ったことがある」(36.5%)などの順となっている。(図2-6-1)

図 2 - 6 - 2 練馬産の農産物の購入—性別、性・年代別



性別にみると、「区内のマルシェで買ったことがある」は女性の方が5.7ポイント高く、2割近くとなっており、「区内の各種イベント（JAの農業祭等）で買ったことがある」は女性の方が3.3ポイント高く、約2割となっている。

性・年代別にみると、「農家の庭先直売所で買ったことがある」は男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多くなっており、男性70歳以上では7割を超えている。「買ったことはない」は女性30歳代で約4割となっている。（図2-6-2）

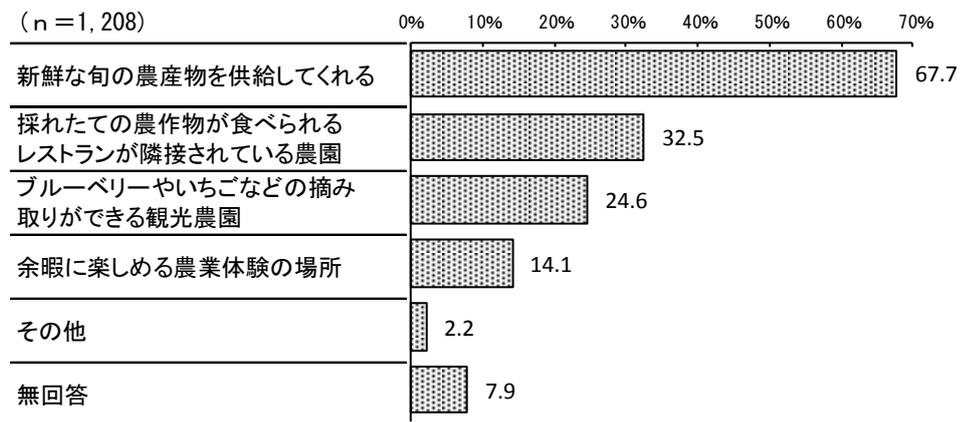
(7) 自宅の近くにあったら良いと思う農地・農園

◇「新鮮な旬の農産物を供給してくれる」は7割近く

問22 あなたは自宅の近くにどのような農地・農園があれば良いと思いますか。

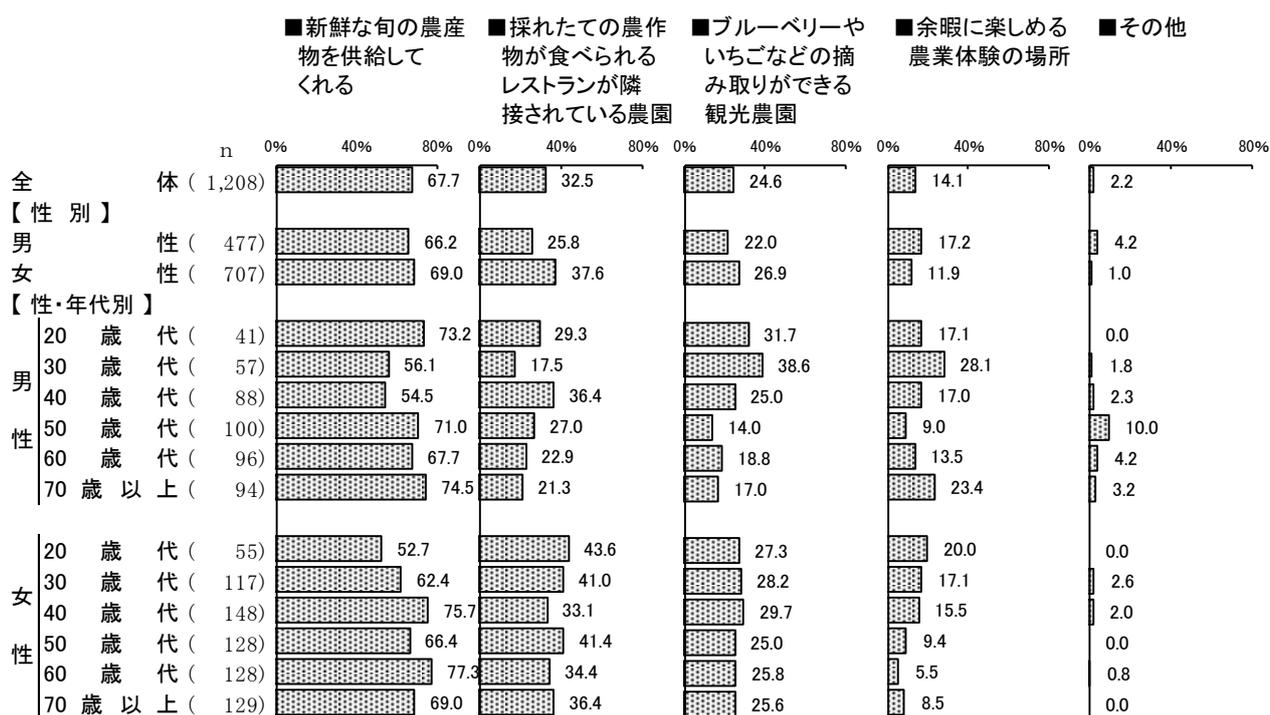
(○は2つまで)

図2-7-1 自宅の近くにあったら良いと思う農地・農園



自宅の近くにあったら良いと思う農地・農園について聞いたところ、「新鮮な旬の農産物を供給してくれる」(67.7%)が7割近くで最も多く、次いで「採れたての農作物が食べられるレストランが隣接されている農園」(32.5%)、「ブルーベリーやいちごなどの摘み取りができる観光農園」(24.6%)などの順となっている。(図2-7-1)

図2-7-2 自宅の近くにあったら良いと思う農地・農園—性別、性・年代別



性別にみると、「採れたての農作物が食べられるレストランが隣接されている農園」は女性の方が11.8ポイント高く、4割近くとなっており、「余暇に楽しめる農業体験の場所」は男性の方が5.3ポイント高く、2割近くとなっている。

性・年代別にみると、「新鮮な旬の農産物を供給してくれる」は女性40歳代・60歳代で7割台後半と多くなっている。「採れたての農作物が食べられるレストランが隣接されている農園」は女性20歳代・30歳代・50歳代で4割を超え、「ブルーベリーやいちごなどの摘み取りができる観光農園」は男性30歳代で4割近くとなっている。(図2-7-2)